

観光連携コンソーシアムとりまとめ（抜粋）

観光連携コンソーシアムでは、各府省が連携して、多様な観光メニューの形成による観光振興を進めることを目的として、これまで5回にわたり検討を重ねてきた。今後は、観光連携コンソーシアムの成果として、各府省が連携した以下の取組みを推進することとする。

なお、訪日外国人旅行者向けのメニューの創出に当たっては、外国人の視点によるニーズの把握・反映が重要であることに留意する。

I. 様々な活動を核とした観光の推進

（略）

II. 観光振興のための基盤整備

（1）人材育成、観光地域づくりプラットフォームの形成支援

（略）

（2）ユニバーサル観光の推進

観光振興を図る上で、高齢者・障害者や乳幼児を抱える家族等が観光に参加しやすくなるような環境を整備することは重要な課題のひとつである。ユニバーサル観光については、旅行先の地域でNPOが宿泊や移動、介助サービスのコーディネートを行うなどの取組みも見られるようになってきたところ、こうした動きも踏まえつつ、ユニバーサルデザインに配慮した旅行商品・旅行システムの開発及び観光地のユニバーサルデザイン化を促進するための施策を推進する。[観光庁]

こうした施策の推進に当たっては、個別の課題ごとに関係省庁が連携した取組みを進めることも必要であり、例えば、乳がん患者の方が専用の入浴着を利用して気兼ねなく温泉に入れるような観光地の拡大に向けて、民間団体の活動を支援し、潜在的な観光需要の喚起を図る。[総務省・厚生労働省・観光庁]

III. 広報・宣伝

（略）

IV. 今後の推進体制

（略）